



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日
東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 2812 URL <http://www.y SKF.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 和広
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統括本部 (氏名) 内山 毅彦 (TEL) 054-202-6044
 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,504	△2.7	626	△27.9	689	△29.6	427	△30.4
27年3月期第3四半期	14,910	△2.6	868	△13.5	979	△11.5	613	△25.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 428百万円(△50.7%) 27年3月期第3四半期 868百万円(△35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	34.45	—
27年3月期第3四半期	47.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	23,513	19,326	82.2
27年3月期	24,955	19,196	76.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,326百万円 27年3月期 19,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,430	△4.9	700	△25.9	860	△18.6	530	△22.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	13,056,198株	27年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	656,221株	27年3月期	656,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	12,399,997株	27年3月期3Q	12,795,118株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)のわが国経済を取り巻く環境は、円安による輸出採算の好転や株高などによる雇用・所得環境の改善がみられ、全般的には穏やかな景気回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国等の景気の下振れ懸念などもあり、実態経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

食品業界におきましては、個人消費に弱さが見られ、少子高齢化の進行等の背景も加わり、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「Change & Challenge」の最終年度にあたり、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、YSK再興戦略として、i. 事業構造改革の実施、ii. 収益重視の営業推進、iii. 新規事業領域(「BtoC」市場)の進展、iv. Only One、差別化商品開発・上市の継続、v. 海外第2拠点の確立、vi. 攻めのガバナンスとROEの向上を掲げ、既存事業においては、値上げによる収益改善を図ると共に、通信販売事業における化粧品「NAG+」シリーズの販売推進や農業分野への進出など新規事業領域の拡大に注力してきました。また、製造面では、低採算製品の統廃合をはじめとした事業の構造改革を実施するなど、生産性及び収益性の向上に向けた取り組みも着実に進んでおります。

連結売上高につきましては、景気回復の期待感に支えられて、加工食品用の調味料の需要が回復基調を維持しておりますが、機能食品は、事業構造改革に係る医療栄養食品事業の撤退による減収に加え、健康食品市場の競争激化に伴う取引先の需要減が尾を引き、水産物のOEM加工が減少するなど、連結売上高は145億4百万円(前年同四半期比4億5百万円、2.7%減)となりました。利益面につきましては、事業構造改革による低採算事業の整理から、利益率は改善に向かいつつありますが、円安による原材料価格の上昇など製造経費の増加をカバーするべく対応している製品価格値上げの推進が遅れていることなどから、連結営業利益は6億26百万円(同2億42百万円、27.9%減)、連結経常利益は、6億89百万円(同2億90百万円、29.6%減)、その他、事業構造改革に伴う固定資産の除却など特別損失の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億27百万円(同1億86百万円、30.4%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。粉末製品が前期比11.2%増、液体製品が前期比3.2%増と好調に推移したことで、売上高は68億94百万円(前年同期比4億29百万円、6.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、昨年建設した掛川工場の固定費負担と動力費の増加が重く、5億37百万円(同2億6百万円、27.8%減)となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、昨年から引き続き健康食品市場の競争激化に伴う取引先の受注減少などにより、機能性食品素材及び機能食品が減収となりました。期初に計画した通りに実施した医療栄養食事業の撤退による3億27百万円の減収が主要因となり、売上高は37億69百万円(同5億74百万円、13.2%減)、セグメント利益(営業利益)は4億39百万円(同38百万円、8.1%減)となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売並びに加工製品の製造販売です。海外向け輸出の回復など営業部門の受注が好調だったものの、鮪のOEM生産など加工部門の減少や問屋部門、倉庫部門の物量が減少した為、売上高は28億26百万円(同2億70百万円、8.7%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は6百万円(同21百万円、75.6%減)となりました。

(その他)

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は10億14百万円(同10百万円、1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は79百万円(同11百万円、17.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ14億42百万円減少し、235億13百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が8億56百万円増加した一方、現金及び預金が14億9百万円、商品及び製品が2億93百万円減少した事などにより、9億10百万円減少し、118億52百万円となりました。

固定資産は退職給付に係る資産が91百万円増加した一方、期中の減価償却費が設備投資を上回り有形固定資産が6億24百万円減少した事などにより、5億31百万円減少し、116億60百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が9億円、支払手形及び買掛金が3億55百万円、未払法人税等が2億67百万円減少した事などにより、14億76百万円減少し、25億87百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億円減少した事などにより、96百万円減少し、15億98百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が1億29百万円増加した事などにより、1億30百万円増加し、193億26百万円となりました。

この結果、自己資本比率は82.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月30日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当該表示の変更以外については影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,882,275	3,473,087
受取手形及び売掛金	4,266,043	5,122,146
商品及び製品	1,350,511	1,057,104
仕掛品	143,227	77,225
原材料及び貯蔵品	1,781,525	1,936,098
繰延税金資産	79,957	81,022
その他	267,180	110,425
貸倒引当金	△7,153	△4,360
流動資産合計	12,763,568	11,852,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,214,566	2,995,582
機械装置及び運搬具(純額)	2,376,593	1,967,256
土地	3,000,335	3,000,335
リース資産(純額)	33,880	18,908
建設仮勘定	—	19,700
その他(純額)	55,208	54,010
有形固定資産合計	8,680,584	8,055,794
無形固定資産	72,054	58,533
投資その他の資産		
投資有価証券	3,216,012	3,235,179
退職給付に係る資産	53,532	145,308
繰延税金資産	3,752	4,196
その他	173,936	167,583
貸倒引当金	△7,571	△5,921
投資その他の資産合計	3,439,662	3,546,346
固定資産合計	12,192,302	11,660,673
資産合計	24,955,871	23,513,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,056	1,552,668
短期借入金	1,000,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
リース債務	19,201	8,925
未払法人税等	323,583	56,078
未払消費税等	23,144	167,602
賞与引当金	115,231	33,832
役員賞与引当金	—	13,500
その他	474,770	455,362
流動負債合計	4,063,988	2,587,970
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,000,000
リース債務	17,350	11,088
繰延税金負債	553,142	558,149
退職給付に係る負債	11,742	19,505
長期未払金	13,434	10,010
固定負債合計	1,695,670	1,598,753
負債合計	5,759,658	4,186,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,489,360	11,618,920
自己株式	△623,001	△623,051
株主資本合計	17,898,135	18,027,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,153,426	1,163,210
為替換算調整勘定	143,798	135,146
その他の包括利益累計額合計	1,297,224	1,298,356
新株予約権	853	699
純資産合計	19,196,212	19,326,700
負債純資産合計	24,955,871	23,513,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,910,249	14,504,894
売上原価	11,724,918	11,497,221
売上総利益	3,185,331	3,007,672
販売費及び一般管理費	2,316,611	2,381,308
営業利益	868,719	626,364
営業外収益		
受取利息	6,206	901
受取配当金	65,410	51,031
受取賃貸料	658	32,785
為替差益	30,720	—
貸倒引当金戻入額	—	5,187
その他	34,214	47,730
営業外収益合計	137,210	137,636
営業外費用		
支払利息	3,013	2,922
為替差損	—	4,423
たな卸資産廃棄損	15,420	25,957
租税公課	—	2,793
減価償却費	—	25,155
その他	7,911	13,367
営業外費用合計	26,345	74,619
経常利益	979,584	689,381
特別利益		
固定資産売却益	429	1,522
投資有価証券売却益	26,497	—
保険収益	13,096	—
特別利益合計	40,023	1,522
特別損失		
固定資産除却損	393	902
投資有価証券償還損	1,718	—
事業再編損	—	36,442
会員権売却損	781	—
損害賠償金	47,849	—
特別損失合計	50,743	37,344
税金等調整前四半期純利益	968,864	653,559
法人税等	355,039	226,399
四半期純利益	613,825	427,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	613,825	427,160

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	613,825	427,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249,544	9,784
為替換算調整勘定	4,691	△8,651
その他の包括利益合計	254,235	1,132
四半期包括利益	868,060	428,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	868,060	428,292
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,464,786	4,344,372	3,096,958	13,906,117	1,004,131	14,910,249	—	14,910,249
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	—	—	11,033	11,033	—	11,033	△11,033	—
計	6,464,786	4,344,372	3,107,992	13,917,151	1,004,131	14,921,283	△11,033	14,910,249
セグメント利益	744,345	478,416	28,178	1,250,941	67,432	1,318,373	△449,654	868,719

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額449,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,894,109	3,769,376	2,826,945	13,490,431	1,014,463	14,504,894	—	14,504,894
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	—	—	6,751	6,751	—	6,751	△6,751	—
計	6,894,109	3,769,376	2,833,696	13,497,182	1,014,463	14,511,646	△6,751	14,504,894
セグメント利益	537,369	439,713	6,882	983,965	79,343	1,063,308	△436,944	626,364

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

2. セグメント利益の調整額436,944千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。